

コウモリ調査者、研究者の皆様へ
(IUCN からの新型コロナウイルスについての注意喚起事項)

2020年5月7日

コウモリの会

現在、世界中で甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）について、IUCN（国際自然保護連合）内のコウモリ類専門家グループ（BSG）が2020年4月12日付けで以下のメッセージを発出しました。（こちらでもご覧いただけます：<https://www.iucnbsg.org/> IUCNの今後の情報の更新にご注意ください。）

ヒトからコウモリへの感染の可能性があきらかになるまでは、コウモリと接触する全てのフィールドワークを一時中止することを推奨するものです。

これは強制力のあるものではありませんが、今後の野外調査の実施については十分にご検討いただくことをお勧めします。

また、このメッセージは、コウモリの調査に関わる人間が研究を進める上で慎重になることを推奨するものです。コウモリを家などから追い払うように公衆に要求したり、示唆したりするものではありません。

RECOMMENDED SUSPENSION OF FIELD ACTIVITIES FOR THE PROTECTION OF BATS

Transmission of SARS-CoV-2 from humans to animals has been documented. If human-bat transmission is possible, the impact on bat populations and conservation will depend on the consequences of SARS-CoV-2 for bat health and the potential for bat-to-bat transmission. The worst-case scenario considers SARS-CoV-2 circulating in bat populations with the potential to spillover to other wildlife and people. Studies to determine whether humans can spread SARS-Cov-2 to bats, bat morbidity, and transmission are ongoing. Until we have a clearer picture of the magnitude of these risks, the IUCN Bat Specialist Group recommends suspending all field work that involves direct interactions with bats. This includes capture and handling bats, as well as being in sustained proximity (< 3 m) at roost sites.

日本語訳) 研究者によるコウモリの野外調査の一時中止について (推奨)

新型コロナウイルス SARS-CoV-2 がヒトから動物へ感染する事例が報告されています。ヒトからコウモリへの感染が可能である場合、コウモリへの SARS-CoV-2 の影響や、コウモリからコウモリへの感染の有無によっては、個体群へ影響をおよぼす可能性があります。

最悪の場合、コウモリ個体群内部で SARS-CoV-2 が拡がり、さらに他の野生生物や人々に感染させる可能性も考えられます。 SARS-Cov-2 のヒトからコウモリへの感染の有無、コウモリの罹患率、およびコウモリ個体群内で感染拡大が起こりうるのかについては、研究が現在進められています。 国際自然保護連合コウモリ専門家グループ (IUCN-BSG) は、これらのリスクの程度が明確になるまで、研究者によるコウモリとの接触を含むすべてのフィールド調査（捕獲およびねぐらでの持続的な接近（3 m 以内））を一時中止することをお勧めします。